



# 柏原中だより

令和4年3月卒業記念号 狭山市立柏原中学校

〒350-1335 狭山市柏原2520-11 TEL04-2954-5073 生徒数 255名

<学校教育目標> 今を精いっぱい生きる・凡事徹底 ○希望を持って進む生徒

## ★3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。★

### 令和3年度 卒業生の埼玉県特別表彰等 (敬称略) 3月12日(土)

#### (1) 令和3年度 埼玉県教育委員会 児童・生徒表彰

3年〇組 ○○ ○○



#### (2) 令和3年度 体育優良児童・生徒表彰

3年〇組 ○○ ○○、 3年〇組 ○○ ○○

#### (3) 令和3年度 埼玉県産業教育振興会小・中学校優良卒業生表彰

3年〇組 ○○ ○○

#### (4) 令和3年度 3年間皆勤賞表彰(無欠席・無遅刻・無早退)

1組 : ○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○

2組 : ○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、  
○○ ○○、○○ ○○

3組 : ○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○



#### (5) “学校だよりお届け隊”、1年間ありがとうございました。

1組 : ○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、  
○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○

2組 : ○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、  
○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○

3組 : ○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、  
○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○

#### (6) 新しい特別支援学級の学級名募集コンテスト(3年生のみ掲載)

最優秀賞 : 3年〇組 ○○ ○○ 学級名「カラフル」

優秀賞 : 1組 ○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、2組  
○○ ○○、○○ ○○、3組 ○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○



#### (7) 校長特命係 (清掃の時間、誰も手の届かない場所の環境整備等をやってくれました)

1組 ○○ ○○、○○ ○○、2組 ○○ ○○、3組 ○○ ○○

### 3年生を送る会 大成功！ 3年生から大好評！！ <3月9日(水)>

3年生を送る会が、3月9日(水)の5、6校時に開催されました。在校生の三送会実行委員、生徒会本部役員、壁面装飾を始め、10セクションの組織に分かれて、それぞれが、しっかりと計画どおり役割を遂行してくれました。今年度も、パフォーマンスを前もって撮影して映像を流す形で企画し、3年生は体育館、1、2年生はリモート映像を教室で楽しむように工夫しました。内容をご紹介しますと、「1年生の発表」は各学級のオムニバス・コメディ、 「2年生の発表」は『走れメロス』の力作劇、 「吹奏楽セクションの発表」は『リメンバー・ミー』など2曲の演奏、恒例の「思い出のスライド」では懐かしい写真がいっぱいでした。「3年生の発表」では、感謝の気持ちをいろいろな形で表現してくれました。プログラムの間に、1、2年生の力作、「ビッグ・アート」の紹介、また、会の最後には、これも恒例のくす玉が見事に割れて閉会となりました。会の後、3年生が1、2年生に宛てたメッセージを書いてくれました。会は、3年生から大好評で、大いに楽しめたことと感謝の思いが溢(あふ)れたメッセージばかりでした。

### 3 送会スローガン : 「H a p p i n e s s ～あなたに伝えたい “言葉” ～」



映像による発表



ビッグ・アート



壁面装飾



くす玉 大成功

## 令和4年3月15日(火) 第40回卒業証書授与式 校長の式辞を掲載します

※ 縦書きの書式だったため、数字が漢数字になっています。

### 式 辞

校庭の桜のつぼみも膨らみ、柔らかな陽の光に包まれて咲き始めた、色とりどりの花が、目を楽しませてくれる季節を迎えました。本日は、狭山市教育委員会教育長 ○○○○様、本校PTA会長 ○○○○様、そして、卒業生の保護者の皆様のご臨席をいただき、さらに、学校運営をいただいているお立場で、柏原地区学校運営協議委員の出席もいただき、コロナ禍のさなか、こうして記念すべき第四十回の、卒業証書授与式が挙行できますことに、まずをもって深く感謝申し上げます。

九十二名の卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。本来ならば、百六十三名の在校生、そして地域でお世話になった大勢の皆さまと一緒に、皆さんを祝福したいところではありますが、今ここに集う皆さんで、精一杯、できる限りの祝福をしたいと思います。

さて、卒業生の皆さんは、とても仲が良く、心優しく、同級生や下級生にはもちろん、私たち教職員にも思いやりの心をもって接してくれました。皆さんが入学して間もなく、私が幟旗のポールを束にして抱えて階段を上っていた時、「校長先生、手伝いましょうか。」と声をかけてくれたのも、この学年の生徒でした。朝、昇降口を箒で履いていると、「ありがとうございます。」と言ってくれるのも、この学年の生徒でした。入試の面接練習にも、全員が、真剣に、しっかりとした態度で臨み、ボランティア活動にも大勢参加し、地域の方々に気持ちのいい挨拶をしてくれました。これも思いやりです。こうして皆さんが相手を思いやる実践ができたのは、ご家庭や地域での教育の賜物です。また生徒会活動も、その一翼を担っているのではないかと思います。それは、ここ数年、生徒会本部のスローガン、目標の中に、必ず「思いやり」という言葉や内容が入っているからです。皆さんが入学する前の年、平成三十年度は、一心優心～広げよう思いやりの輪～、この年に、「いじめゼロの誓い」ができました。令和元年度は、相思友愛～思いやり改革～、令和二年度は、結、その中に(温厚篤実を実践すれば、思いやりにあふれた学校になる。)論語のような、目標がありました。そして、この学年の令和三年度は、希努相楽、相楽の相は、相手の相で、「相手を思って」という目標でした。

こうした生徒会が掲げた学校生活の目標が、行事の時に、部活動の時に、そして日常の生活でも活かされてきたのだと確信しています。

この中のある生徒との面接練習で、「中学校生活の一番の思い出は何ですか。」と質問した時に、その生徒は「二年生の時の体育祭です。」と答えました。きっと二年の時優勝したからだろうと思いましたが、「なぜ二年の時の体育祭が一番の思い出なんですか。」とさらに質問したところ、意外な答えが返ってきました。「私は、二年の体育祭のクラス全員リレーで、バトンを落としてしまいました。その失敗を責められると思っていたのに、責められるどころか、同じ団のクラスの人や先輩も、『気にしないでね』『大丈夫だよ』と言ってみんな励ましてくれたからです。」と答えてくれました。それが、一番の思い出だったわけです。私は、なんて思いやりのある生徒たちなんだろうと、感銘を受けました。

卒業生の皆さん、皆さんが入学して一緒に生活できたお蔭で、私たち教職員も、体育祭、音楽会、宿泊学習、修学旅行などの行事、授業や部活動、普段の学校生活でも、楽しい時を過ごせました。ありがとう。それから、コロナも含め、健康安全に過ごしてくれてありがとう。最高学年として、柏中を支えてくれて、ありがとう。柏中をさらにいい学校にしてくれて、ありがとう。三年間、本当にありがとう。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。お子様が次の場所で、自分の将来を切り開きながら、さらに大きく、たくましく成長されますことを、心よりご祈念申し上げます。

結びに、今ここに、義務教育最後の有終の美を飾っている卒業生の皆さんが、柏原中の卒業生として、それぞれの場所で、大いに活躍することを期待しています。卒業生九十二人の洋々たる前途をお祝いして、式辞といたします。

令和四年三月十五日

狭山市立柏原中学校校長 井堀 広幸